

第71回東信柔道大会要項

第28回(公社)長野県柔道整復師会少年柔道大会東信予選会

第24回長野県少年少女チャンピオン大会東信予選会・第16回全国小学生体重別柔道大会東信予選会

- 1 名 称 第71回東信柔道大会
- 2 主 催 東信柔道連盟
- 3 共 催 東信柔道整復師会
- 4 主 管 佐久柔道連盟
- 5 後 援 小諸市・小諸市教育委員会・小諸市体育協会
東信実業団柔道連盟・上小柔道連盟・佐久市柔道協会・北佐久柔道協会
南佐久柔道協会・小諸柔道クラブ・信濃毎日新聞社・小諸警察署
- 6 日 時 令和元年5月12日(日) 午前9時開会式
開 場：7時45分 計 量：8時から 審判・監督会議：8時30分
- 7 場 所 小諸市武道館：柔道場 (小諸市乙1189-1 電話0267-23-3800)
- 8 試合種目及び選手
 - 1) 小学生の部
 - ①長野県少年少女チャンピオン柔道大会東信予選：小学生1年生から小学生4年生対象
 - ・長野県柔道連盟に登録している東信地区に居住する小学生1年生から小学生4年生
 - ・男女別個人試合 トーナメント方式で実施 (各教室・私設柔道場より人数制限無し)
 - ②全国小学生体重別柔道大会東信予選：小学生5年生・小学生6年生対象
 - ・長野県柔道連盟に登録している東信地区に居住する小学生5年生・小学生6年生で小学生5年生(平成20年4月2日以降に生まれた者)小学生6年生(平成19年4月2日以降に生まれた者)とする。男女別、体重別個人試合 トーナメント方式で実施
(各教室・私設柔道場より人数制限無し)
 - ・【階 級】
小学生5年生男子45kg以下級・45kg超級、女子40kg以下級・40kg超級
小学生6年生男子50kg以下級・50kg超級、女子45kg以下級・45kg超級
 - ③※参加選手で柔道を修行し6ヶ月満たない者は、参加を認めない。6ヶ月とは総修行期間を表す。
(例：柔道を始めて二か月後に骨折をして約二か月の休養後一か月の修行をし、合計六か月⇒参加はできない)
 - 2) 一般の部
 - ①団体戦 東信地区に居住・その地区内に勤務または、協会・連盟に所属する会員で編成したチームによる団体試合。(上小・佐久チームによる団体対抗戦とし警察官は2名以内とする)
 - ②個人試合 三段・四段の段別個人戦。 参加人数により試合方法は検討する。
- 9 競技規則※新ルールを適応します(平成30年4月からの適用ルール)
 - 1) 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定・少年大会特別規定、全柔連審判規程及び本大会申し合わせ事項による。
 - 2) 試合時間 一般(代表戦含)・小学生5・6年生は3分 小学生1年生から小学生4年生は2分
 - 3) 判定基準 団体戦：勝率高得点トーナメント戦とし、同点の場合は勝ち点内容によって決する。
内容が同じ場合は1回代表戦を行い僅少差(旗判定)で勝敗を決する。
判定基準は、「技あり」または「指導2」差以上
個人戦：「技あり」もしくは「一本」のテクニカルスコアーまた、直接もしくは累計による「反則負け」または、指導2差で決着がつく。指導1差は旗判定とする。GSは行わない。
- 10 脳 震 盪
 - ・大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急専門医：脳神経外科の精査を受けること)練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対して、書面により事故報告を提出すること。

- 1 1 表 彰 各種目とも上位4名に表彰状を授与する。一般団体戦は優勝旗を授与する。
- 1 2 参 加 費 少年・一般共に1名：1,000 円（一般は団体・個人試合に出場しても一律1,000 円）
- 1 3 審判・監督会議 試合当日 8時30分より会議室にて行う。
- 1 4 計 量 試合当日8時より、男子：柔道場 女子：女子更衣室にて行う。
服装は、最低限男子はショートパンツ、女子はショートパンツ・Tシャツとする。
- 1 5 申し込み期日 所定の用紙に必要事項を記入の上、大会事務局宛4月30日（火）必着。
それ以降の到着は、組み合わせの都合上認めない。（FAX・郵送・E-mailにてお願いします）
★柔道ながの：東信柔連よりダウンロードしてください。
大会事務局 〒387-0701 南佐久郡佐久穂町畑 4115 岩崎恒春 宛て
TEL090-1559-3464 FAX 0267-88-2407
E-mail bunkaen2003@yahoo.co.jp
FAXで申し込みの場合は必ず電話で確認をお願いします。
E-mail申し込みは「東信大会申し込み希望」と記載をお願いします。
引率者は緊急の連絡先を申込用紙に記入をお願いします。

1 6 注意事項

- 1) 各種目1～4年生はベスト8入賞者、5・6年生は上位4人までを県予選会に推薦する。
(県予選会：6月23日（日）上田市自然運動公園総合体育館)
- 2) 体重別大会については、成長過程を重視し減量を行ってはならない。（全国大会の趣旨）
- 3) 組み合わせについては、大会事務局・競技部・普及部にて行う。
- 4) 小学生の出場選手には保護者または保護者を代行できる者が同伴すること。
- 5) 負傷者については、負傷時の応急処置は主催者において行う。事後については傷害保険の範囲としその他の責任は一切負わない（負傷者は試合当日に本大会事務局に報告のこと。事後報告は認めない。また、選手は各自傷害保険に加入すること）
- 6) 出場選手、監督および保護者は申し込みの時点で体格差のある選手との対戦が生じる場合があることを了承したものとす。
- 7) 前年度優勝チームは、優勝旗を忘れず持参してください。
- 8) 小学生体重別県予選会及び県チャンピオン大会の申込みは当日行います。（参加費2,000円）
- 9) 各種目、県予選会を兼ねていますので出場申込みについては責任を持ってください。
- 10) 新罰則（指導）の内容 試合中に柔道衣が乱れ、帯より外に上衣の裾（背部を含む）が出た場合、主審の「待て」から「始め」の間に、選手自ら素早く服装を直すこと。主審が「待て」を掛けても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に、主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。合わせて帯も、本人が緩く結ぶことが原因で解け、自ら固く結び直さず主審から指示された場合もカウントの対象となる。選手は「待て」から「始め」までの間に、自ら素早く服装を直し、帯を固く締めなければならない。但し、積極的な試合展開で、例えば柔道衣の上衣がすっぽり脱げた場合に服装を直す指示を主審が行ってもカウントされない。あくまでも、場外や寝技の停滞などで「待て」が掛かった場合、選手が柔道衣の乱れを放置し、主審から指示された場合にカウントされる。「待て」の後、選手が自ら柔道衣を直そうとする場合、「髪の手直し」と同じく少し猶予を与える。帯を解いて服装を直す場合は、従来通り主審の指示・許可がなければならない。※背部の裾の長さが臀部を覆っていない、体幹部が細く胸元の合わせ目が浅い等は、柔道衣の乱れやすさの一因である。上記罰則を導入するにあたり、柔道衣コントロールをより厳密に行う様に徹底して頂きたい。